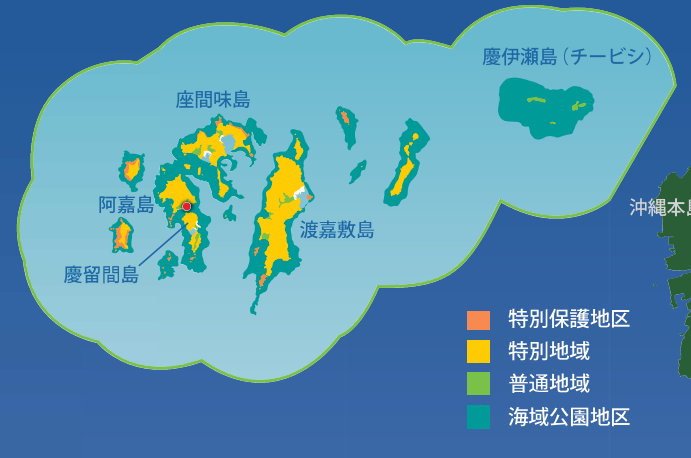




さんごゆんたく館

SANGO YUNTAKU KAN
VISITOR CENTER

慶良間諸島国立公園エリア



● 公園利用のマナー ●

- サンゴの上ののったり、足でけらないようにしてください
- 動植物をとらない、持ち帰らないようにしてください
- 野生動物にエサを与えないでください
- ゴミの持ち帰りにご協力ください
- キャンプ場以外でのキャンプは禁止です

さんごゆんたく館へのアクセス

- ☆クィーンざまみ (所要時間: 約 50 分) 那覇泊港北岸出航
- ☆フェリーざまみ (所要時間: 約 90 分) 那覇泊港とまりん前出航
- 阿嘉港で下車後、さんごゆんたく館まで徒歩約3分

- 開館時間: 9:00~17:00 (12月~3月は16:00まで)
- 入館料無料 ●年中無休



QRコードを読み込んでいただくか、『さんごゆんたく館』で検索してください



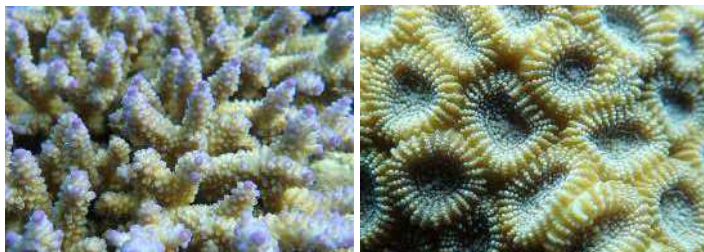
慶良間諸島国立公園ビジターセンター さんごゆんたく館

〒901-3311 沖縄県島尻郡座間味村字阿嘉 936-2 Tel : 098-987-3535

■ 船舶お問い合わせ: 座間味村役場那覇出張所 Tel : 098-868-4567

慶良間諸島国立公園の特徴

ケラマブルーと称される透明度の高い海域、大小30あまりの島々と岩礁、白い砂浜が織りなす海と陸が連続する多様な景観が特徴です。海域では、サンゴを中心とする生態系が最大の魅力です。またザトウクジラが毎年繁殖のためにやって来るほか、ウミガメ類も慶良間の島々の砂浜で産卵が確認されています。陸域では絶滅危惧種のアジサン類の集団繁殖地があり、カラスバトやケラマトカゲモドキなど、希少な動物も生息する環境が残されています。



阿嘉島・慶留間島・外地島

阿嘉島は座間味島、渡嘉敷島に次ぐ三番目の大きさの有人島です。南の慶留間島、外地島とは橋でつながっています。海岸線は崖に囲まれていて、間に砂浜が点在しています。島の北東には慶良間を代表する砂浜のひとつ、ニシハマビーチがあり

目の覚めるような景観が広がっています。慶良間島は一番小さな有人島です。19世紀に建られた、国の重要文化財に指定されている高良家があります。外地島は空港があるのみの無人島です。

信号もコンビニもない小さな島々で、便利なものはほとんどありません。けれどもその不便さを補って余ほどの豊かな自然に囲まれています。

大自然と触れ合い、慶良間の素晴らしさを体感してください。



さんごゆんたく館は慶良間諸島国立公園の素晴らしい自然をたくさんの人に知って頂くため、阿嘉島にオープンした施設です。国立公園内で最大の魅力であるサンゴを中心に自然情報を紹介しています。ゆんたくとは沖縄の言葉でおしゃべりを意味します。館内はゆっくりとくつろげるような空間となっていますので、ご来島の際にはぜひお立ち寄りください。

さんごゆんたく館へようこそ



館内でサンゴ学習などの講座や各種ワークショップ、野外では自然観察会や史跡巡りなどの開催を予定しています。詳細はFacebookのさんごゆんたく館ページをご確認ください

